

ミヤマコナスビ

Lysimachia tanakae

サクラソウ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 掲載なし

種
子
植
物



低山地の林内や林縁に生える多年草。ソハヤキ要素の植物で、本県では主として南部や西部に分布している。全体に軟毛があり、茎はつる状に伸びて地面をはい、節から根を出す。葉は卵円形で対生し、葉肉中に黒い腺点びんがみられる。花期は6～7月、茎の上部の葉のつけ根に2～3cmの花柄を普通2個ずつ出し、直径8～10mmの黄色の花をつける。個体数はかなりみられるが、森林伐採や道路工事による環境変化で、生育地の減少が懸念される。

(写真：小代連枝 文：小田 毅)

県内分布 津江山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、大分川・大野川丘陵地、豊後水道後背地域、大野川上流域、祖母・傾山地、北川上流域

分布域 本州（紀伊半島）、四国（一部）、九州（熊本・大分・宮崎）